

部局名	都市整備部	所属名	公園緑地課	所属長名	柳澤 洋	電 話	483-1151 内線3230
-----	-------	-----	-------	------	------	-----	-----------------

1. 事務事業の位置付け・概要（PLAN）

コード	3342		事務事業名称	都市公園管理事業					短縮コード	経常	3342	臨時	3609
予算区分	会計	01	一般会計	款	08	土木費	項	04	都市計画費	目	04	公園管理費	
区 分	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務 ☐ その他				根拠法令等	都市公園法、八千代市都市公園条例、八千代市都市公園条例施行規則、八千代市環境美化里親制度実施要領、八千代市宅地開発指導要綱							
事業概要（事務事業を開始したきっかけを含めて記入）													
・都市公園維持管理事業は都市公園法第2条の3に規定された市の固有事務であります。 ・街区公園などの維持管理について、「環境美化里親制度」（アダプト制度）の普及に努め、地域の住民自治組織などとの連携を図りながら、維持管理に努めます。 ・地域住民の体育の向上の増進を図るため、未利用地の民有地を体育活動を行う場として維持管理する団体等に補助しました。（平成22年度から文化・スポーツ課に所管替えいたしました。）													
事務事業を取り巻く状況の変化 又、今後の変化の推測					総合計画の施策体系	6本の柱（章）	05	第5章快適生活都市をめざして					
・開発行為等に伴い都市公園も年々増えており、市民の要望、苦情も多様化し増加しています。 ・遊具等、公園施設に対する安全基準、安全確保の指針が改定、強化され、その対応が急務である。						大項目（節）	02	第2節公園・緑地					
						中 項 目	01	1. 公園・緑地					
						小 項 目	03	(3)公園・緑地の管理					
						細 項 目	01	①公園・緑地の維持管理					
02	②住民自治組織等との連携による公園管理の推進												
					実施計画の計画事業								
計画事業の位置付けの有無				☐	計画事業期間		～		計画事業費		千円		

2. 事務事業の目的・指標・実績（DO）

対象 （誰を何を対象にしているのか）	都市公園・緑地						
手段 （具体的な事務事業のやり方、手順、詳細）	※平成23年度に実際に行ったこと： ＜1＞職員による公園等のパトロールの実施、公園施設の修繕、公園施設の改良等工事施行、＜2＞清掃、樹木剪定などの公園管理業務の委託を行ない実施、＜3＞都市公園等の占用、使用事務、不法駐車駐輪の処理業務の実施、＜4＞開発行為における公園設置の指導・検査移管手続実施 ＜5＞専門技術者による市内全公園の遊具及び施設点検の実施。						
	※平成24年度に計画していること： ＜1＞職員による公園等のパトロールの実施、公園設備の修繕、公園施設の改良等工事施行、＜2＞清掃、樹木剪定などの公園管理業務の委託を行ない実施、＜3＞都市公園等の占用、使用事務、不法駐車駐輪の処理業務の実施、＜4＞開発行為における公園設置の指導・検査移管手続実施、＜5＞専門技術者による市内全公園の遊具及び施設点検の実施。						
意図 （何を狙っているのか）	＜1＞安全で快適に利用してもらう。 都市空間の確保と快適な生活環境を実現します。						
ねらい（上位施策の意図）	入力対象外						
区 分			単位	22年度	23年度		24年度
				実績	計画	実績	計画
対象指標	指標1	都市公園数	公園	308	308	308	311
	指標2	里親参加団体（個人）数	団体・人	41	45	46	48
	指標3						
活動指標	指標1	施設修繕・改良工事公園数	公園	209	200	184	190
	指標2	里親実施公園数	公園	42	43	49	51
	指標3						
成果指標	指標1	苦情公園数/都市公園等数	%	27	27	22	22
	指標2	里親実施公園数/都市公園等数	%	14	14	16	17
	指標3						
上位成果指標	指標1						
	指標2						
	指標3						

コード	3342	事務事業名称	都市公園管理事業				所属名	公園緑地課
今後の方向性	⑥この事務事業の今後の方向性を選択し、その詳細について右欄に記入する。	☒ 改革・改善して継続			今年度以降，市により新設される公園が複数あり，事業規模は拡大する予定。公園の管理についてはアダプト制度の拡充に努め維持管理を効率的に実施する必要がある。			
		☐ 手法プロセスの改革・改善						
		☒ 事業規模の拡大・縮小						
		☐ 統合・役割見直し						
	☐ その他							
☐ 廃止・休止								
☐ 事業完了								
☐ 現状のまま継続								
	⑦この事務事業の今後の経費・成果の方向性について選択し、右欄に理由を記載する。			経 費			今年度以降，市により新設される公園が複数あることから，事業規模は拡大し，新設公園の維持管理費に伴う経費が増加する。今後新設予定の公園等については，地元説明会などでアダプト制度の広報を積極的に実施し成果向上を目指す。	
				削 減	不 変	増 加		
		成 果	向 上	☐	☐	☒		
			不 変	☐	☐	☐		
		低 下	☐	☐	☐			

この事務事業に対する市民や議会の意見（担当者が把握している意見） ※内部サービス業務の場合は、住民ではなく、サービス利用者、関連部門の意見や実態など									
・ 樹木管理について、剪定・伐採の要望、害虫駆除また、安全な公園としての要望が増加しています。 ・ 遊具の安全管理の強化の要望と、撤去した遊具の代替遊具の設置要望も多く寄せられています。									

所属長コメント	「環境美化里親制度」（アダプト制度）は，自発的かつ自主的に活動して頂くボランティア活動であり，なかなか参加協力を得られない状況を踏まえ，今後は，継続的な啓蒙活動に加え，活動状況の見学会等による意見交換会も考えて行く。また，新たに建設される公園については，工事説明会等に合わせ環境美化活動の啓蒙を行っていく。 施設管理については，長寿命化計画に基づいた計画的改築をしていく。								
評価調整委員会評価	☒ 改革改善して継続			アダプト制度の拡充については，課題解決に努め順次推進すること。また，費用対効果を検証したうえで，公園施設長寿命化計画に基づき遊具の保全・更新に努めること。					
	☐ 手法プロセスの改革・改善								
	☒ 事業規模の拡大・縮小								
	☐ 統合・役割見直し								
☐ その他									
☐ 廃止・休止									
☐ 事業完了									
☐ 現状のまま継続									